

気候情報

2022年12月の日本の天候

- 気温は東・西日本で低かった
- 降水量は北・東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、降雪量は東日本日本海側でかなり多かった
- 日照時間は北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なかった

12月の天気概況

オホーツク海や日本の東で低気圧が発達して、北・東日本日本海側を中心に強い冬型の気圧配置となる日が多かった。西日本日本海側は、上旬は高気圧に覆われやすかったが、中旬以降は強い冬型の気圧配置となる日があった。このため、東・西日本日本海側を中心に大雪となった所があった。沖縄・奄美は上旬は前線や低気圧の影響、中旬以降は気圧の谷や寒気の影響を受けやすかった。中旬以降、西日本を中心に強い寒気が南下して気温が大きく低下した時期があった。

上旬：低気圧が短い周期で通過し、通過後は北日本を中心に冬型の気圧配置が強まり寒気が流れ込んだ。このため、北日本日本海側では大雪となった所があった。西日本日本海側では、高気圧に覆われやすかった。沖縄・奄美は前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、北日本で低く、沖縄・奄美で高かった。東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側で多かった。一方、西日本日本海側でかなり少なく、北・東・西日本太平洋側で少なかった。

旬間日照時間は、北日本日本海側と沖縄・奄美で少ない一方、西日本日本海側で多かった。東日本日本海側と北・東・西日本太平洋側では平年並だった。

中旬：期間のはじめは高気圧に覆われ全国的に晴れた日もあったが、13日に低気圧と前線が日本海を通過した後は、冬型の気圧配置となる日が多かった。14日から16日にかけてと18日から20日にかけては冬型の気圧配置が強まり、記録的な降雪となった所もあった。沖縄・奄美は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、北・西日本と沖縄・奄美で低かった。東日本では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。一方、西日本日本海側で少なかった。北・東・西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東・西日本日本海側、北日本太平洋側、沖縄・奄美で少ない一方、西日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側では平年並だった。

下旬：22日から23日にかけて低気圧が日本海と本州南岸を進み、低気圧が北海道付近を通過した後は26日まで強い冬型の気圧配置となり、北日本から西日本の広い範囲で大雪となった。21日と27日以降は冬型の気圧配置が緩んだ。沖縄・奄美では高気圧の南縁にあたる事が多く、寒気の影響を受けやすかった。強い寒気が西日本を中心に南下して気温が低下した時期があった。

旬平均気温は、北日本でかなり高かった。一方、東・西日本と沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と北・東日本太平洋側で多かった。西日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本太平洋側で多かった。北・西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

12月の気候統計

月平均気温：東・西日本で低かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北・東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、東・西日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。

月間日照時間：北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側で少なかった。一方、東日本太平洋側で多かった。西日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

12月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量の多い方から (mm)
新庄 (山形県) 482.0
- ・月間日照時間の少ない方から (h)
盛岡 (岩手県) 66.0
- ・降雪の深さ月合計値の多い方から (cm)
高知 (高知県) 18など2地点
- ・月最深積雪の大きい方から (cm)
高知 (高知県) 14

2022年12月の平年差 (比) 図

